

平成25年度「鳥取県頑張る住民自治活動団体等」知事表彰

団体表彰 「かんど地域づくり協議会」

活動内容：毎年、集落単位で防災訓練に取り組み、災害時対応マニュアルを全戸に配布。高齢化が進む地域の日常を支える女性でも簡単に消火活動ができるよう、全集落の消火栓を噴霧式ノズルに更新した。さらに、周辺の消火栓の位置図をホース格納庫に貼り付け、安全対策の強化を図っている。また、若者に地域への関心を高めてもらえるよう、地区の働きかけにより若い世代の集う「新緑の会」が結成され、若者同士の交流や地域行事へのボランティア参加などで活動している。



少子化に伴い、帰宅しても遊び相手が居ないため、「放課後子ども教室」を運営し、宿題や遊びを地区の有志で見守っています。また、高齢者を主体とした「めだかの会」では、稲作・芋掘り体験を実施し、子ども達を地域で見守り、地域で育てる体制作りに努めています。県内外から好評を得ている「桃祭り」は、小学生の体験学習の場、全児童による「砂見太鼓」発表の場ともなっており、地区を挙げて子育て支援に取り組んでいます。



「鳥取県頑張る住民自治活動団体等表彰」団体表彰とは

…地域社会の活性化に貢献してきた住民自治活動団体を知事表彰し、良好な地域社会の維持及び形成を促進することを目的に、平成12年度より行われている。(旧：鳥取県優良地縁団体等表彰)

平成25年度「鳥取県頑張る住民自治活動団体等」知事表彰

団体表彰「いなば西郷むらづくり協議会」

活動内容：各集落の名所旧跡などを巡る「西郷まるごと博物館ぎゃらりーあっちこっち」では、郷土の魅力を住民自ら再発見するとともに、地域内外の住民の交流の場となっている。また、県とスーパーボランティア支援事業の協定を締結し、曳田川において、清掃活動等を行い、美しい溪流の復活を図った。「西郷まるごと川遊びデー」として保育園・小学校の学習・遊びの場として提供すると共に、ホタル観賞会などで世代間・地域間交流行事に活用している。



溪流を活用して、10年以上にわたりカジカガエル生息地の保護活動を実施しています。また、全国で初めて鳥取県栽培漁業センターが養殖に成功した淡水魚「アユカケ」を飼育し、地域の新たな資源の開発に取り組んでいます。地区の名峰「高山」の登山道を住民自ら整備し、三滝溪周辺の登山道もあわせて草刈り・伐採作業を行って、イベントで活用しています。



「鳥取県頑張る住民自治活動団体等表彰」団体表彰とは

…地域社会の活性化に貢献してきた住民自治活動団体を知事表彰し、良好な地域社会の維持及び形成を促進することを目的に、平成12年度より行われている。(旧：鳥取県優良地縁団体等表彰)